

第1回 日本遺産「里沼」テーマ別 タスクフォース情報共有会議

- 1) 日時 令和元年12月27日(金)9:00~10:15
- 2) 場所 館林市役所3階政策審議室
- 3) 出席 須藤市長・館林市役所「里沼」関係課職員(係長級・担当者)
- 4) 須藤市長あいさつ

日本遺産認定後、6/27(木)に館林市「日本遺産」推進協議会を設立した。具体的に事業を展開していくヌマベーション連絡協議会の設立に向け、11/22(金)各グループのリーダー候補者(为国孝敏氏・橋本淳司氏・岡屋英治氏・恩田昭一氏)との意見交換会も実施した。本日は各グループと民間プレイヤーとの市民協働のまちづくりを目指して、庁内関係課によるタスクフォース会議を立ち上げることとしたい。日本遺産「里沼」の事業推進を目的とし、本会議を定期的開催しながら情報共有を図っていく。

5) 各チーム報告

	各 TF チームの取組み報告	質問・意見等	方向性
1	沼辺土地活用チーム (都市計画課・道路河川課・緑のまち推進課)		
	沼辺周辺の土地活用に向けて候補エリアと課題を整理した。また市民満足度向上施設の設置検討を目的とし、事業者ヒアリング調査を行った。	特に無し	引続き検討及び整備を進めて行く。
	近藤沼公園(中沼)の活用として、公園利用者アンケートに基づき社会実験としてバーベキューサイトを実施し、課題を抽出した。		
	城沼つつじ緑道(城沼北岸:当郷町)と「朝陽の小径」間の土地を取得。芝生広場・園路整備を予定。		
2	日本遺産ロゴ使用・商品ブランド化チーム (商工課・農業振興課・日本遺産PJ)		
	「里沼」の日本遺産認定後の盛り上がりの中で、日本遺産ロゴ使用申請も増加し、関連商品も続々登場。ポスター・チラシへの使用が30件、商品化・包装等が11件となっている。	【須藤市長】 民間業者作製の「里沼ピンバッジ」の売れ行きが良いと聞いている。販売場所はどこか?在庫状況も見つつ追加作製も働きかける必要がある。	駅前観光案内所とつつじが岡ふれあいセンターで販売している。在庫僅かのため追加作製を依頼する。
	11~12月にかけて、市広報紙及び商工会議所会報誌にて日本遺産ロゴ使用を民間事業者等へ働きかけた。また、館林商工高校と連携して「里沼」ロゴも作成中。次回推進協議会で候補を複数提示のうえ、1点を選定し、活用していく。		
	農商工連携を目的とし、11月にフードシェッドプロジェクトを設立。今後は関係者へのアンケート調査・意見交換会を予定。また、館林駅連絡通路を活用した物産販売も検討していく。		
3	体験型観光関係チーム (つつじのまち観光課・道路河川課・日本遺産PJ)		
	里沼ワークショップ・散策講座・インバウンドニーズ調査を実施したが、担い手発掘と収益事業化が課題。特にカヌー・カヤックは水面利用にあたり利害関係者との調整が必要。	【須藤市長】 日向漁協組合との話で多々良沼の釣りや遊覧をセットでPRする案も出た。関係課でPR協力を検討して欲しい。	体験型観光としてパンフレットに掲載することも検討したい。
	茂林寺沼ではモニターツアーとして座禅・うどん打ち・箸づくり等の体験プログラムを検討。多々良沼ではいちご狩り農園との連携を行った。城沼では大芝生広場活用のための民間イベント誘致を行うとともに、映像学習館での里沼展示・4D 新作映像制作に着手し、ガイド機能充実させていく。	【須藤市長】 つつじが岡公園内でセグウェイ体験があると面白い。是非検討を。	安全性等も含めて検討する。
4	情報発信・啓発チーム (秘書課・日本遺産PJ)		
	各種媒体への情報掲載、公式 Twitter による情報発信を行う。里沼パンフレット・ポスター作成のほか、第一資料館企画展開催により普及活動を展開中。今後もPRイベント等での積極的に参加する。	特に無し	文化庁が2/13を「日本遺産の日」に制定。認定団体集結のPRイベントも予定されているので、各課協力をお願いしたい。
	市広報紙では随時里沼関連情報を掲載中。また懸垂幕や映像資料、次年度カレンダーを作成し普及・PRを行った。市外へのPRと新作YouTube動画の作成が課題。		
5	その他 (日本遺産PJ)		

	令和元年度文化庁補助事業〔地域文化財総合活用推進事業/観光拠点整備事業〕の進捗状況について説明。	【須藤市長】 各事業ともスピード感を持った展開が行われていると思うが、市民の反応はどうか？	市民の積極的な事業参画も得られており、シビックプライドが醸成されつつあると感じる。
--	--	--	---

6) 須藤市長総評

このタスクフォース会議は、月1回1時間程度として定期的に行きたい。各課の進捗状況を相互に報告、チェックしながら日本遺産「里沼」の事業展開を一丸となって進めていきたい。初回は4チームに出席してもらったが、沼辺の環境関係(特に水質)のチームも必要であると思われる。地球環境課と文化振興課文化財係による「自然環境保護チーム」も次回から追加招集することとしたい。